



と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」



高岡市立戸出東部小学校
令和6年12月13日

「言葉の力」

生徒指導主事

普段、どのくらい意識して言葉を使っていますか。おそらく全ての言葉を意識して使っていると自信をもって言える人は少ないのではないのでしょうか。意識せずに心の中で何かつぶやいたり、特に注意を払うことなく相手に声をかけたりするのはよくあることです。しかし私たちが何気なく使っている言葉は、自分や相手に想像以上に大きな影響を与えているかもしれません。

脳神経外科医の林成之氏によると、「疲れた」「もうこれ以上できない」「無理だ」などという『否定的な言葉』は、自分が言っても、他の人が言うのを聞いても、脳に悪い影響しか与えないそうです。『否定的な言葉』に脳が反応して、目の前にやるべきことがあっても脳がマイナスの思考になってしまうのです。反対に、「〇〇するぞ」「楽しい」「頑張ろう」という『プラスの言葉』は、「考え方」をプラスに変え、「行動」をプラスに変え、そして「結果」をプラスに変えていくそうです。

戸出東部小学校では、児童会が中心となり「あったか言葉」を使う取り組みをしています。これも『プラスの言葉』を使う取り組みのひとつです。言葉は、私たちの生活において非常に重要な役割を果たしています。皆さんも、日常生活の中で「言葉の力」を意識してみてください。



「4年生 保健 体の成長とわたし」

4年担任

4年生の保健では、思春期の心や体はどのように変化し、どのようにしたらよりよく成長するのかを学習しています。今月、養護教諭と一緒に、思春期に現れる心と体の変化について学習しました。まずは、シルエットクイズ。小学校入学時、小学校6年、さらに大人の体、3つのシルエットから男女を見分けられるか考えました。多くの子が、入学時では見分けがつかず、6年生と大人のシルエットは正しく見分けることができました。つまり、思春期には男女の体つきに特徴が現れ始めるということです。男女の体つきの変化を学習したり、変声や発毛についても養護教諭から詳しく教えてもらったりしました。次に、体の中の働きにも変化が起こること、さらに心にも変化が現れることも学習しました。これらの変化もまた個人差があり、いずれは誰もが経験することだということを知りました。初めて知ることで不安な表情を見せている子供もいましたが、お家の人や先生たちに相談してよいのだと伝えると安心していました。



〈子供たちの振り返りより〉

- ・男女の体つきの違いは思った以上にたくさんあってびっくりしました。身長の伸びも個人差があったので、体つきの変化も一体どんな感じに変わるのか楽しみです。
- ・体の中も変化が起こることと変化が起こる時期は個人差があると知り安心しました。
- ・男子や女子の体には、命の元があることが分かりました。だから自分の体を大切にしていこうと思いました。

